

その土地に住むことで、
まだ見ぬ魅力や資源に気づける

【インタビュープロフィール】

- ・ 氏名：堀江 洋生（ほりえ・ひろき）
- ・ 年齢：32歳
- ・ 出身：青森市（Uターン）
- ・ 現在の居住地：青森市
- ・ 移住前の居住地：仙台市
- ・ いつから移住：2020年6月～
- ・ 職業：事業開発伴走
起業家支援業（アワイ合同会社 代表）



人が持つアイデアや資源を かたち作る会社を創業

大学卒業後、東京ではエネルギー商社、
仙台ではベンチャー企業支援の会社で
それぞれ5年間勤めました。

特に仙台では東北地方の**起業家支援**をして
いて、起業したい人や起業したばかりの
人たちへ教育プログラムを提供したり、
人材マッチングを提供するなど、外側から
の支援を行ってきました。



人が持つアイデアや資源を かたち作る会社を創業

いずれは自分で会社を経営したいと考えていて、コロナ禍によって県をまたぐ移動ができなくなったとき、より身近な関係性のなかで自分の力を役立てたいと考えて、**青森を拠点に創業しました。**

プレイヤーがまだ少ない青森で、まずは自分が事業をつくる側になることで、小さく早く事業をやっていくことができると考えたんです。

2020年6月、青森市でアワイ合同会社を設立。「アワイ」とは、「間」のことです。**人と人との間の関係性をデザインする、地域と地域との間のつながり方をデザインする、**という意味を込めています。



**外側からの支援ではなく、
自分もプレイヤーとして盛り上げたい**

3月から会社経営を本業とし、**企業の新規事業の企画・立ち上げの支援や起業家の支援**などを事業として行っています。たとえば企業がやってみたい新規事業に対して、会社の中に入って企画段階から参加し、アイデアを検討したり、手法を考えて一緒に実行していきます。

プロジェクトの進行管理や運用だけではなく、プレイヤーとして一緒に課題を解決していくというものです。



■ 外側からの支援ではなく、
自分もプレイヤーとして盛り上げたい

幸い、これまで東北地方の経営者と仕事する機会が多かったので、新規事業のプロジェクトのメンバーとして入ってくれないか、というお声がけをいただいています。パートナーとなる業種は幅広く、小売業やIT、建設業などさまざまです。

今は仙台や福島企業の仕事に携わっていますが、**青森に拠点があって不便を感じることは特にありません。**



外側からの支援ではなく、 自分もプレイヤーとして盛り上げたい

実際に青森で仕事をしてみて、まだ手付かずのビジネスや地域の使われていない資源を世に出せるチャンスが地方にはたくさんあるなと感じています。

地域の経営者と一緒に、そういったまだ見ぬ資源の可能性を見つけていくのは面白いです。まだ誰もやっていないことを企画していく仕事は楽しいですし、やりがいを感じます。**青森は中堅都市だからこそポテンシャルがまだまだあるし、自分がやったことが地域や社会にすぐに反映される距離感、サイズ感なので、事業をやっていくにはちょうどいい**と思っています。



**自分がハブになって人と人をつなげ、
価値を生み出したい**

現在は一人会社で、各プロジェクトの必要に応じてチームを作っています。

一緒に仕事をする人や依頼内容によって業務自体が多岐にわたるので、地域の中の人やリソースを持っている人を可視化し、掛け合わせて、プロジェクトや企画、事業を作っていきたいです。



移住を考えている方へメッセージ

一緒に何か仕事ができたらうれしいです！

地域とのつながりなしに移住はないと思うので、**まずは具体的にひとつでも地域とのかかわりを持って、行動に移してほしい**ですね。

会社でも住民票でも、まずは移住したい土地に自分の居場所や席を作ることが大事なかなと思います。

